

らっきょうで学ぶ 砂丘物語

鳥取砂丘が世界を救う



らっきょう栽培に代表される砂丘農業は戦後の食料難を背景として発展を遂げ、現在では因幡地域の特産品として定着しています。またこの過程で生み出された乾燥地研究の成果は、世界の乾燥地に苦しむ人々を救う役割を果たしています。



写真：乾燥地研究センター内 アリドドーム

My



らっきょう作り 体験者募集!

～500g お持ち帰り～



収穫したらっきょうを商品化し販売します。その売上の一部を鳥取大学みらい基金に寄付し、砂漠化防止などの国際的課題に対する研究(世界を救う研究)に活かさせていただきます。

日時：2011年6月26日(日) 9:00～17:30

場所：鳥取大学乾燥地研究センター・福部町公民館

参加費：1,000 円 (先着50名様)

主催：(社)鳥取青年会議所 

協力：鳥取市・鳥取大学・鳥取大学乾燥地研究センター
福部らっきょう生産組合・らっきょうプラン推進委員会
幸屋エイ・ピー

後援：鳥取県・山陰海岸ジオパーク推進協議会・新日本海新聞社・朝日新聞鳥取総局・山陰中央新報社
毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局・産経新聞鳥取支局・時事通信社鳥取支局・共同通信鳥取支局
中国新聞鳥取支局・日本経済新聞鳥取支局・山陰放送鳥取支社・山陰中央テレビ・NHK放送局
日本海テレビ・日本海ケーブルネットワーク・鳥取テレビア・エフエム山陰・FM鳥取



山陰海岸ジオパーク